



▲講演する中野教授

岡山大学は8月1日、特別講演会「最後の素粒子 ヒッグス粒子」を創立五十周年記念館で開催。物理学の標準理論で17種類あるとされる素粒子のうち、唯一見つかっていなかった「ヒッグス粒子」とみられる新粒子を国際研究チームが発見したことを受け、実験に参加した理学部附属量子宇宙研究センター長の中野逸夫教授が発見の意義などを語った。

で、自身が開発に携わった検出器の仕組みを詳しく説明。「新粒子の属性をさらに調べ、ヒッグス粒子であると真に特定していくことが必要」と述べた。さらに高校生や大学生らに向けて「ヒッグス粒子以外にも謎の素粒子はたくさんある。ぜひ皆さんも未解明の謎に挑んで」と呼びかけた。

中野教授の講演に先立ち、石野宏和・理学部物理学科准教授も「宇宙から探る素粒子物理学」と題して講演し、素粒子の大きさや種類、それを見るためにはなぜ高エネルギー加速器が必要かなどをわかりやすく説明した。

TOPICS

最後の素粒子 ヒッグス粒子を語る

国際チーム参加 理学部・中野教授らが講演



▲記者会見する森田学長（左）と荒木理事=8月2日

国際化に対応し、世界のあらゆる分野で活躍できるグローバル人材を育成するため、岡山大学は2013年度から人材育成の取り組みを強化する。4月から新設する「グローバル人材育成特別コース」を核に、「世界で存在感を発揮する岡山大」を目指す。森田潔学長と荒木勝理事（社会貢献・国際担当）が8月2日に記者会見し、明らかにした。

で週20時間の実践的なトレーニングを行い、国際的な活動に対応できるTOEFL iBT 89点以上の達成を目指す。最長1年間の海外留学を義務化するほか国際インターシップの参加も促す。曹源寺での修行体験や閉谷学校での実習など日本文化を実践的に学ぶ独自のカリキュラムも準備している。

グローバル人材育成特別コースは、全学部の新入生に英語の試験と面接を行い、50〜100人を選抜。専門教育と並行しながら、「英語力養成プログラム」

森田学長は「これまででは世界で活躍したいと考える学生は、各自で英語を勉強したり留学するしかなかった。今後は大学として意欲ある学生に応える態勢を整え、キャンパス全体を国際化したい」と意気込みを語っている。



▲グローバル人材育成特別コースや留学支援を紹介するパンフレット

グローバル人材育成へ 特別コース新設を発表

世界で戦える研究大学に URA 4人が着任

TOPICS

岡山大学に9月1日、大学の運営と教育研究力向上・改革に直接かつ大きな役割を果たす「リサーチ・アドミニストレーター（University Research Administrator: URA）」として、沼口徹、古矢修一、佐藤法仁、宇根山絵美の4人が着任した。学長室で森田潔学長から辞令交付と訓示が行われ、活動をスタートした。



▲（前列左から）森田学長、山本研究担当理事
（後列左から）佐藤URA、沼口URA、古矢URA、宇根山URA

把握、大型研究プロジェクト事業の提示・研究開発資金獲得支援、本格的な「リサーチ・ユニバーシティ」研究大学を目指した「大学改革」の推進支援など、数々の重要ミッションを遂行。世界的に高い評価を受けている物理学、化学、医歯薬学などの分野の強化や国内外の中核となる人文・社会科学分野の教育研究力の推進を図り、「世界で戦える大学作り」に強く関与していく。

9月21日には、着任を記念してシンポジウムも開催され、岡山大学の研究戦略やURAの活動について討議を行った。

岡山大学卒業生 片山選手が五輪出場



岡山大学の卒業生で、自転車競技女子マウンテンバイクの片山梨絵選手（スペシャライズド）が8月11日、ロンドン五輪に出場した。前回の北京大会に続く2大会連続の五輪出場で、結果は20位と健闘した。

今回の五輪では日本の女子マウンテンバイクに出場枠がなかったが、オランダとノルウェーが出場枠を返上、次に権利があったスペインも辞退したため、日本が出場枠を獲得。日本自転車競技連盟が7月2日、片山選手を代表として選出した。